

当地ダービー覇者・桐生順平が断然 黒井達矢も初タイトルへ好気合

関東地区選手権

戸田 2/9~14

予想	選手名	支部	期	勝率
	三角 哲男	東京	58	6.65
	鈴木 博	埼玉	64	6.33
	飯島 昌弘	埼玉	73	6.78
	石渡 鉄兵	東京	74	6.36
△	中澤 和志	埼玉	82	6.89
	作間 章	東京	82	6.51
	齊藤 仁	東京	83	6.87
	須藤 博倫	埼玉	83	6.22
	金田 諭	埼玉	85	6.88
	中野 次郎	東京	86	6.52
	福島 勇樹	東京	87	6.56
	中村 尊	埼玉	87	6.37
△	福来 剛	東京	87	6.43
	石塚 久也	埼玉	89	6.61
	向後 龍一	埼玉	90	6.23
△	久田 敏之	群馬	91	7.35
	土屋 千明	群馬	92	6.94
◎	壽島 誠	群馬	92	7.96
	長田 頼宗	東京	93	6.70
×	山田 哲也	東京	95	6.64
	金子 拓矢	群馬	95	6.85
	若林 将	東京	96	7.12
	土屋 智則	群馬	97	7.21
	小林 泰	東京	99	6.36
	有賀 達也	埼玉	100	6.58
	永田 秀二	東京	100	6.20

予想	選手名	支部	期	勝率
◎	桐生 順平	埼玉	100	7.94
	大池 佑来	東京	101	6.76
	小山 勉	埼玉	102	6.38
	島田 賢人	埼玉	102	6.47
×	黒井 達矢	埼玉	103	6.82
	秋元 哲	埼玉	103	6.58
	北山 康介	東京	103	6.91
	金子 賢志	群馬	103	6.50
	浜田 亜理沙	埼玉	104	7.20
△	中田 竜太	埼玉	104	7.25
○	佐藤 翼	埼玉	105	7.44
	上村 純一	群馬	108	6.57
	永井 彪也	東京	109	6.65
	金子 和之	埼玉	110	6.23
穴	渡邊 雄朗	東京	112	6.79
	今泉 友吾	東京	112	7.13
△	椎名 豊	群馬	113	7.13
	前田 紗希	埼玉	115	6.49
	佐藤隆太郎	東京	115	6.82
○	関 浩哉	群馬	115	7.48
	尾上 雅也	埼玉	119	6.34
穴	畑田 汰一	埼玉	122	6.36
穴	松本 純平	埼玉	123	6.85
	大澤 風葵	群馬	126	6.99
穴	飛田 江己	埼玉	128	6.70
	藤田 俊祐	東京	129	6.24

昨年のグランプリには関東から5選手が出場。壽島誠、桐生順平の2大看板に加え、関浩哉、佐藤翼が初出場を果たした。地区自体の底上げはできている印象だ。それでもやはり中心は桐生と壽島。両者はともに昨年当地のSGを制しており、決定力は断然。ターンスピード、テクニクを駆使して機敏にまとめる。当地のエンジン出しを加味すれば、佐藤は負けていない。パワーでリードすれば逆転も可能だ。関も近況は成長がうかがえる航跡。特にエンジン出しの精度がワンランク上がっている印象。水面特性と相性で狙いたいのは椎名豊。福来剛もターン回りを仕上げて当地は5Vと安定。GIVをあと少しのところで逃している黒井達矢も気合は当然入る。

真冬のこの時期は北西の風が吹きやすく、冬型が強まればホームは追い風強風に。安定板装着や、2周戦というレースも発生する。まくりよりは思わぬ差し艇が穴を空ける場面も出てくる。モーターは飛び抜けたエース級は見当たらず、機勝率もあまり参考になっていない。昨年10月のダービーでギヤケースを交換したモーターが徐々に勝率を上げてきている印象だ。ダービーで桐生順平が優勝した25号機が安定感No.1。行き足近辺に特徴が出ている。38号機も直線系が良く上位に仕上がる人が多い。53、65号機も加速感があり、ポテンシャルは高い。立ち上がりや実戦系の48号機や、行き足急上昇の30号機も注目候補になる。(ガイド・長谷川)

総展望

水面・モーター

新田雄史が地元G I初戴冠へ 勢いは好調・静岡勢がリード

東海地区選手権

津 2/3~8

予想	選手名	支部	期	勝率
	服部 幸男	静岡	64	6.72
	仲口 博崇	愛知	69	6.50
	石田 章央	静岡	77	6.35
	佐藤 大介	愛知	77	6.24
×	佐々木康幸	静岡	81	6.77
△	赤岩 善生	愛知	82	6.80
	横澤 剛治	静岡	82	6.50
○	坪井 康晴	静岡	82	6.77
◎	菊地 孝平	静岡	82	6.99
	坂口 哲	三重	83	6.81
×	重野 周	静岡	83	6.80
	大瀧明日香	愛知	83	6.38
穴	笠原 亮	静岡	84	6.54
△	井口 佳典	三重	85	6.68
	伊藤 将吉	静岡	85	6.24
	桐本 康臣	三重	85	6.33
	永井 源	愛知	86	6.54
	大橋純一郎	静岡	86	6.26
×	柳沢 一	愛知	86	6.65
	山崎 哲司	愛知	87	6.67
穴	杉山 正樹	愛知	87	7.02
	細川 裕子	愛知	88	6.98
	山田 雄太	静岡	89	6.55
穴	長嶋 万記	静岡	91	6.59
	北川 潤二	愛知	91	6.42
穴	三浦 永理	静岡	91	7.65

予想	選手名	支部	期	勝率
	岡 祐臣	三重	93	6.70
	杉山 裕也	愛知	93	6.83
○	平本 真之	愛知	96	6.87
◎	新田 雄史	三重	96	7.15
	平田健之佑	三重	101	6.45
◎	河合 佑樹	静岡	102	7.01
	野口 勝弘	愛知	103	6.30
○	深谷 知博	静岡	103	7.04
	前田 聖文	愛知	105	6.84
	中嶋健一郎	三重	105	6.31
○	磯部 誠	愛知	105	6.92
△	岩瀬 裕亮	愛知	106	7.25
	中山 雄太	愛知	108	6.54
	佐藤 博亮	愛知	113	6.70
穴	高田ひかる	三重	113	6.48
×	松尾 拓	三重	114	6.36
×	松井 洪弥	三重	114	6.67
穴	野中 一平	愛知	115	6.70
○	豊田健士郎	三重	115	7.04
	吉田凌太郎	愛知	117	6.66
△	吉田 裕平	愛知	117	7.66
穴	吉川 貴仁	三重	118	6.44
×	黒野 元基	愛知	119	6.88
	前田 篤哉	愛知	120	6.39
	川井 萌	静岡	127	6.33
	中野 仁照	愛知	128	6.78

一昨年に競技棟、そして昨年12月に選手管理棟が完成。生まれ変わったボートレース津で初めて行われるG Iレースとなった。昨年のグランプリへ出場した菊地孝平と河合佑樹、平本真之の活躍に注目は集まるが、彼らを差し置いてV最右翼へ位置するのが新田雄史。地元津ではG IIの優勝こそあるがG I以上のタイトルはゼロ。そろそろの期待は高まっている。磯部誠や深谷知博、坪井康晴、赤岩善生と歴戦の強者が並ぶが、井口佳典も不調打破へ格好の舞台となっていた岩瀬裕亮も、1月江戸川からG I復帰。初タイトルへ意欲的に走るはず。黒野元基も2年連続優出を狙う。記念を勝てる地力はすでに身に着けている。

中止順延の多い津だが、2月はその危険もぐっと高まる。向かい風が2Mやスリットを襲い、スタートすらままならない時も。主流の北西が西に寄るほどに荒れ傾向となるだけに、安定板への対応が必要となる。走り慣れている東海地区の面々ならそのあたりは熟知、そして覚悟も決まっているだろうか？ 安定板が付かない時でも向かい風が主流、それを味方にダッシュ勢が躍動する場面は多くなる。それでもオッズはイン中心に集まる水面、高配当の期待は十分に持てる。普段は2コース小差しの利く津だが、この季節だけはお勧めできない戦略だ。また、新エンジン6節目と相場は不透明。勝率より直前気配を重視したい。(中日スポーツ高橋亮考)

総展望

水面・モーター

近畿地区選手権

三国 2/2~7

今垣光太郎が地元G Iで大暴れ! 当地G II制した丸野一樹に注目

予想	選手名	支部	期	勝率	予想	選手名	支部	期	勝率
◎	今垣光太郎	福井	63	7.20		渋谷 明憲	大阪	100	6.45
△	松井 繁	大阪	64	7.55		和田 兼輔	兵庫	100	6.83
△	田中信一郎	大阪	69	6.56		鎌倉 涼	大阪	100	6.66
	太田 和美	大阪	69	6.94		尾嶋 一広	兵庫	101	6.67
	吉川 昭男	滋賀	70	6.89	穴	遠藤 エミ	滋賀	102	7.29
	武田 光史	福井	72	6.66		高野 哲史	兵庫	102	7.10
	中辻 博訓	福井	78	6.62		小野 達哉	大阪	108	6.96
△	吉川 元浩	兵庫	79	7.30		篠田 優也	兵庫	108	6.36
	深井 利寿	滋賀	81	6.60		木下 翔太	大阪	109	6.87
	北村 征嗣	大阪	83	6.64	○	丸野 一樹	滋賀	108	7.31
	古結 宏	兵庫	84	6.44		上條 暢嵩	大阪	110	7.57
	中村 有裕	滋賀	84	6.21		木村 仁紀	滋賀	111	6.43
	湯川 浩司	大阪	85	6.76	×	山崎 郡	大阪	112	7.20
	吉田 俊彦	兵庫	86	6.44		山田 晃大	滋賀	112	6.26
○	萩原 秀人	福井	86	6.82		小池 哲也	大阪	113	6.29
	吉永 則雄	大阪	88	6.87		柳内 敬太	兵庫	113	6.49
	君島 秀三	滋賀	89	6.45		和田 拓也	兵庫	113	6.86
	吉川 喜継	滋賀	92	6.64		井上 一輝	大阪	114	6.61
◎	馬場 貴也	滋賀	93	7.62		小池 修平	大阪	117	7.16
	藤岡 俊介	兵庫	94	7.16		上田 龍星	大阪	117	7.14
	稲田 浩二	兵庫	94	7.26		関野 文	大阪	118	6.19
×	小坂 尚哉	兵庫	94	6.98		佐藤 悠	福井	118	5.68
	岡村 仁	大阪	95	7.13		井上 忠政	大阪	119	7.22
△	松田 祐季	福井	98	6.63	穴	西橋 奈未	福井	119	6.60
	西村 拓也	大阪	98	7.16		馬野 耀	大阪	120	6.27
△	下出 卓矢	福井	99	6.32		澤田 尚也	滋賀	121	7.11

総展望

ハイレベルなメンバーが集まる地区選、何と言っても地元G Iに復帰の今垣光太郎に熱視線。前期はF休みによる出走回数不足の影響でA2級だが、久々の地元G Iだけあって、自身の気合はもちろんファンからの注目度は高い。まだまだ三国の総大将としてレースを引っ張ってくれるだろう。昨年三国で3Vの萩原秀人、三国の周年記念を制したばかりの下出卓矢にも期待。

遠征勢も強力。滋賀支部からは3年連続SG制覇を果たしている馬場貴也、昨年当地のモーターボート大賞を勝った後、G Iを2勝した丸野一樹、大阪支部から松井繁、田中信一郎、兵庫支部からは当地相性抜群の吉川元浩に注目。激戦必至だ。

水面・モーター

風向きがコロコロ変わりやすいが、冬場はホーム側追い風が強めに吹くことが多く、差が決まりやすい。モーターは、24年2月末から使用しており、相場はだいぶ固まっている。Eース級なのは2機あり、1つは64号機。降ろしたてからの選手が乗っても結果を出しており、近況では周年記念でも優出を果たしているモーター。もう1つは61号機。プロペラの反応が良く、起こしから行き足、力強さがある。その他、12月に赤岩善生が仕上げた37号機、周年優勝機の63号機、伸び中心にバランス取れている38号機、23号機、12号機あたりも注目だ。

(実況アナ 高橋敬亮)

各地区 注目株!

関東地区

佐藤隆太郎



地元埼玉支部は23名も参戦する。その中では、若手成長株の畑田汰一、松本純平、飛田江己が

記念戦でどこまでやれるかに注目したい。ポテンシャル的にはG Iでの活躍が見込めるだけに期待したいところ。当地地区選でV歴がある中澤和志、須藤博倫の奮闘も見たい。東京勢では昨年V量産で、SG出場も叶えた佐藤隆太郎に注目。2020年の戸田での

地区選でG I初優出をしているゲンのいい水面で、攻撃力を発揮してもらいたい。当地6Vの山田哲也、5Vの福来剛も好相性。渡邊雄朗も直線系の調整がはまれば狙い目になる。群馬勢は18年の江戸川大会の金子拓矢以降、優勝者が出ていない。攻撃力が高い椎名豊に注目だが、現在当地2連続優勝中の久田敏之のG I初Vも見てみたい。

東海地区

昨年9Vをマークした豊田健士郎が、25年シーズンこそ記念タイトル奪取へ総力を挙げる。21年周年、24年全国ボートレース甲子園(G II)と地元記念は2度の優出。勝って一流の仲間入りを果たすか。昨年の戸田ダービー出



豊田健士郎

場で名前を売った吉川貴仁も地元戦はめっぽう強い。松井洪弥、松尾拓も今年のダービー地元開催へ向けて気持ちが入っている。高田ひかるは昨年の蒲郡大会では準優入り。ツボにはまったときは男子強豪にも真つ向勝負できる強さが魅力。

地元三重勢は総じて意識は高いが、ひと足早く記念を勝った吉田裕平に注目。今後、いくつもタイトルを手にするであろう逸材が覚醒。そして勝率を急激に上げてきた中野仁照がG I初参戦。夢の記念レースでどこまで通用するか、期待したい。

近畿地区

12月に地元の周年記念を制したばかりの下出卓矢。展示タイムが出ている時に仕上がっているのがわかるタイプで、伸びを求める選手ではあるものの、2度のG Iを制した時の決まり手は共に「差し」。伸びに特化した調整もそうだが、近年は伸びもある出足を意識しながらペラ調整、整備を行っている。臨機応変にモーター、枠に対応しながら自分の調整を続ける選手だ。「もっと上のクラスでも戦えるようにペラ調整のレベルをあげ、伸びは誰にも負けないようにしたい」と語る。この地区選でも枠番に関係なく、自分を信じた調整と攻めのレースで地元水面を大いに湧かせてくれるだろう。

下出卓矢



下出卓矢

島村隆幸が初の四国チャンプへ! Vラッシュ・菅章哉も侮れない!

四国地区選手権

丸亀 2/4~9

予想	選手名	支部	期	勝率
	山川美由紀	香川	57	6.91
	烏野 賢太	徳島	60	5.40
	丸尾 義孝	徳島	61	6.06
	新田 芳美	徳島	66	5.43
△	三眞 誠司	香川	69	6.51
	福田 雅一	香川	69	5.50
	岩崎 芳美	徳島	71	6.02
△	林 美憲	徳島	75	6.91
	秋山 広一	香川	78	6.10
	佐々木和伸	徳島	78	5.90
	中岡 正彦	香川	78	6.66
	村越 篤	香川	80	5.51
▲	重成 一人	香川	80	6.23
	眞田 英二	徳島	82	5.55
	小野寺智洋	香川	83	5.81
◎	田村 隆信	徳島	85	6.10
○	森高 一真	香川	85	6.45
△	市橋 卓士	徳島	86	6.53
	中越 博紀	香川	93	5.64
	三好 勇人	香川	96	6.14
	宮崎 奨	香川	96	6.73
	竹田 吉行	徳島	98	5.66
△	平山 智加	香川	98	6.31
	中田 元泰	香川	100	6.84
△	平高 奈菜	香川	100	6.71
	松尾 祭	香川	100	5.73

予想	選手名	支部	期	勝率
◎	片岡 雅裕	香川	101	7.04
▲	菅 章哉	徳島	105	6.72
	葛原 大陽	徳島	106	6.28
	松尾 夏海	香川	107	6.16
△	近江 翔吾	香川	107	6.29
○	島村 隆幸	徳島	109	6.82
	河野 大	徳島	110	6.44
	堀本 和也	徳島	111	6.45
	赤井 睦	徳島	111	5.47
△	中村 晃朋	香川	111	6.42
	山田 祐也	徳島	112	6.85
	石丸 海渡	香川	112	6.67
	竹田 和哉	香川	112	6.77
	西野 雄貴	徳島	114	7.07
	四宮 与寛	徳島	115	5.62
	川原 祐明	香川	115	6.17
	木谷 賢太	香川	118	6.38
△	中村 日向	香川	122	6.49
△	濱野 斗馬	香川	126	6.08
	田村 理央	徳島	127	5.34
	山田 理央	香川	129	5.50
	西岡 颯心	香川	129	6.55
	西丸侑太郎	香川	130	5.63
	水谷 理人	香川	132	6.05

もちろん地元香川勢はVを譲るわけにはいかない。森高一真、片岡雅裕は意外にもまだ地区選V歴がない。気合の走りをみせてV戦線を引き張って行くはずだ。

冬場に吹き荒れる強烈な北風がまだ残っている時期。安定板が装着されるような水面になることもあるか。基本的にはイン有利。スタートがそろそろGイレースならなおさらその傾向は高くなる。

以前は鳴門との隔年開催が定番だった四国地区選手権だが、ナイター開催場との日程調整の結果もあり、2年連続でのまるがめ開催となった。地元勢有利が鉄板だったのは昔の話。前年は田村隆信が復活のVを成し遂げた。昨年12月の鳴門GI渦潮大賞でも準優勝18番目からのミラクル優出(6着)、近況の流れもいだけに連続Vに挑む。徳島勢では今やエース格との評判もある島村隆幸が初の四国地区No.1の座を目指す。昨年一般戦でVラッシュだった菅章哉も注目の1人だ。

昨年11月中旬にGI京極賞が開催されたことで、エンジン相場が固まってきたようだ。吉田裕平にGI初優勝をプレゼントしたのは31号機。「ターンでの抜け感が特

いい。ここまでの足に仕上がったのは自分でもびっくり」と超抜の足だったが、以降の動きを考えると乗り手次第になるか。むしろ優勝戦4着だった山田康二の65号機がエース格に成長している。末永和也が準Vだった66号機は出足型。他、10、29、43、57、66号機あたりも好気配継続中だ。(A)

3年前の下関大会の覇者・寺田祥が3度目の中国チャンプを目指す。SGチャレンジカップは準Vに終わり惜しくもグランプリ出場は逃したが、存在感を猛アピール。25年は下関、常滑と得意水面でのGI戦から始動し、純地元の徳山で完全復活を果たす。他にも原田篤志、大峯豊、佐々木完太、森永隆らが地元水面で気合十分だ。

中国地区選手権

徳山 2/8~13

寺田祥が地元水面で存在感示す 2強ムードの茅原悠紀&山口剛

予想	選手名	支部	期	勝率
	西島 義則	広島	49	6.85
	寺田 千恵	岡山	65	7.08
	市川 哲也	広島	67	6.27
	山下 和彦	広島	70	6.27
	海野ゆかり	広島	71	6.74
	江本 真治	山口	74	5.82
	辻 栄蔵	広島	74	6.83
	上平 真二	広島	75	7.17
	平尾 崇典	岡山	78	6.88
	山本 寛久	岡山	79	6.67
◎	寺田 祥	山口	81	6.88
	谷村 一哉	山口	82	5.99
	向井 美鈴	山口	84	6.21
	佐々木裕美	山口	85	5.64
×	田口 節子	岡山	85	7.35
	清水 敦揮	岡山	85	7.37
△	原田 篤志	山口	86	6.42
	山本 修一	岡山	86	6.25
	妹尾 忠幸	岡山	87	6.81
	吉村 正明	山口	88	6.26
×	吉田 拓郎	岡山	90	7.63
	森定 晃史	岡山	90	6.50
△	山口 剛	広島	91	7.47
×	大峯 豊	山口	92	6.87
	竹田 辰也	山口	92	6.02
	長尾 章平	山口	93	6.53

予想	選手名	支部	期	勝率
	麻生 慎介	広島	94	6.48
	柳生 泰二	山口	97	6.90
	山口 達也	岡山	97	6.48
	船岡洋一郎	広島	98	7.03
○	茅原 悠紀	岡山	99	7.46
	末永 由楽	岡山	100	6.50
	喜井つかさ	岡山	103	6.26
	渡邊 和将	岡山	103	6.93
	村岡 賢人	岡山	105	6.79
×	森野 正弘	山口	106	6.76
	大上 卓人	広島	109	6.48
	森永 隆	山口	110	6.29
	白神 優	岡山	110	6.63
△	藤原啓史朗	岡山	112	6.54
	下寺 秀和	広島	112	6.49
	浜先 真範	広島	113	6.15
	入海 馨	岡山	116	7.31
	高岡 竜也	山口	119	6.01
	實森 美祐	広島	119	6.63
△	佐々木完太	山口	120	6.55
	井本 昌也	山口	120	6.59
×	高橋 竜矢	広島	121	6.35
	島川 海輝	山口	126	6.60
	野田 彩加	山口	126	5.77
	清水 愛海	山口	127	6.36
穴	穴 藤原 碧生	岡山	129	6.51

2年前の児島大会の覇者。リズムも良く、水面相性もいい。山口は選出順位19位で惜しくもグランプリ出場は逃したが、宮島で行われた前回大会に続いての連覇に期待だ。

冬場の徳山水面は一筋縄ではない。ほぼ緩やかなホーム追い風でイン天国の徳山だが、2月には強めの北風が吹く日があり、ホームでは向かい気味の風となる。これが5m以上の強い風になれば、いつものイン有利の傾向が崩れる。水面状況のチェックは必須だ。モーターは初使用から半年以上が経ち素性もはつきりしている。温水パイプで多少の変動はあったものの、上位機は安定している。中でも最近のおすすめは40号機。行き足、伸びが超強力で1Mまで

に先手を取れるシーンが多い。18号機も上昇中。ハイレベルなパフォーマンスで乗り手を選ばず安定した結果が期待できる。他には好調度で26、65、実績で58、71、72号機が活躍候補機だ。(日刊・測上)

3年前の下関大会の覇者・寺田祥が3度目の中国チャンプを目指す。SGチャレンジカップは準Vに終わり惜しくもグランプリ出場は逃したが、存在感を猛アピール。25年は下関、常滑と得意水面でのGI戦から始動し、純地元の徳山で完全復活を果たす。他にも原田篤志、大峯豊、佐々木完太、森永隆らが地元水面で気合十分だ。

冬場の徳山水面は一筋縄ではない。ほぼ緩やかなホーム追い風でイン天国の徳山だが、2月には強めの北風が吹く日があり、ホームでは向かい気味の風となる。これが5m以上の強い風になれば、いつものイン有利の傾向が崩れる。水面状況のチェックは必須だ。モーターは初使用から半年以上が経ち素性もはつきりしている。温水パイプで多少の変動はあったものの、上位機は安定している。中でも最近のおすすめは40号機。行き足、伸びが超強力で1Mまで

3年前の下関大会の覇者・寺田祥が3度目の中国チャンプを目指す。SGチャレンジカップは準Vに終わり惜しくもグランプリ出場は逃したが、存在感を猛アピール。25年は下関、常滑と得意水面でのGI戦から始動し、純地元の徳山で完全復活を果たす。他にも原田篤志、大峯豊、佐々木完太、森永隆らが地元水面で気合十分だ。

総展望

水面・モーター

総展望

水面・モーター

九州地区選手権

大村 2/10~15

峰竜太が連覇&V4に挑戦! 黄金期迎えた佐賀支部に注目

予想	選手名	支部	期	勝率	予想	選手名	支部	期	勝率
	田頭 実	福岡	58	6.62	◎	宮地 元輝	佐賀	100	7.42
	石川 真二	福岡	66	6.75		松崎祐太郎	福岡	100	6.35
	深川 真二	佐賀	71	7.84	△	篠崎 仁志	福岡	101	6.39
○	原田 幸哉	長崎	76	6.52	×	桑原 悠	長崎	102	6.93
○	瓜生 正義	福岡	76	7.08		滝川真由子	長崎	102	6.14
	平田 忠則	福岡	80	7.12	×	古澤 光紀	福岡	103	6.92
×	森永 淳	佐賀	86	6.58		小野 生奈	福岡	103	6.24
	出畑 孝典	福岡	87	7.01		松田大志郎	福岡	104	7.70
	石橋 道友	長崎	87	7.06		岡村 慶太	福岡	104	7.36
	益田 啓司	福岡	88	6.61		坪口 竜也	福岡	104	6.36
	安東 幸治	福岡	88	6.20		塩田 北斗	福岡	105	7.10
	江夏 満	福岡	89	6.63		渡邊 優美	福岡	105	7.01
	長野壮太郎	福岡	90	6.57		山ノ内雅人	福岡	107	6.25
	赤坂 俊輔	長崎	90	6.21	×	村上 遼	長崎	110	6.53
	渡辺 浩司	福岡	93	7.49		安河内 将	佐賀	111	6.64
穴	今井 貴士	福岡	94	6.70		高倉 和士	福岡	111	6.90
	永田 啓二	福岡	94	7.54	穴	竹井 貴史	福岡	111	7.11
	古賀 繁輝	佐賀	94	7.04	△	羽野 直也	福岡	114	6.88
△	岡崎 恭裕	福岡	94	6.57	×	仲谷 颯仁	福岡	115	7.36
◎	峰 竜太	佐賀	95	8.70		新開 航	福岡	119	7.26
△	篠崎 元志	福岡	96	7.45		溝口海義也	福岡	118	6.38
	里岡 右貴	福岡	96	6.76		安河内 健	佐賀	122	6.76
△	下條雄太郎	長崎	96	7.06		原田才一郎	福岡	122	6.80
	池永 太	福岡	97	7.09	×	末永 和也	佐賀	124	6.93
○	西山 貴浩	福岡	97	7.64	△	定松 勇樹	佐賀	125	7.25
	川野 芽唯	福岡	100	6.72	穴	常住 蓮	佐賀	126	6.60

総展望

昨年の芦屋はエース機を引いた峰竜太が優勝。GI初優勝だった09年の芦屋、21年の大村でも優勝している。連覇と4Vへ挑戦だ。九州地区選は植木通彦、上瀧和則、国光秀雄、岡本義則（いずれも引退）の4Vが最多。記録の上でもレジェンドたちに並ぶことができるか。大村との相性もいい宮地元輝が対抗格。定松勇樹もSG覇者となったし、末永和也もいて佐賀支部は黄金時代に突入だ。福岡支部もスター軍団。西山貴浩、瓜生正義のグランプリ組をはじめ、篠崎兄弟もいる。大村との相性もいい岡崎恭裕も、若松クラシック出場をかけてのラストチャンス。長崎支部は初の九州チャンプを目指す原田幸哉や、下條雄太郎、桑原悠が誕生祭に続いて参戦。

水面・モーター

誕生祭からの連続開催なので、誕生祭で活躍したモーターには注目したい。それでも32と18が大村の2枚看板機。そして、変調がなければ、52、69も推せるモーターだ。大村ではシリンドーケース交換が出来るのは、整備士が非開催日に行う中間整備だけ。厳密にはギヤケースも事故などで破損しない限り、換えることはできない。キャリアアポディー交換も抽選で1回のみ。ダメなら戻すしかない。つまり、機歴通りの相場となり、リングやピストン交換くらいでは激変することは少ない。現実として中間整備が入ってからの上昇機は多い。例えば、20、36、39、49、74は明らかに上昇した。特にセツト交換よりも、ギヤケース交換の方が効果がある。（報知・長谷）

注目株!

各地区

四国地区

菅章哉



23年9月のGIから開設70周年記念優勝戦、菅はチルト3度の威力でまくったが痛恨のFコール。Fの罰則が強化されてから、特別戦での優勝戦Fは初めてのことで、休み明けから1年間はGI、GIIを走れなかった。いよいよ新年からベナルティー解禁。正月シリーズを終えた後、今年一発目のGIとなる下関70周年記念を走り、四国地区選手権を迎えることになった。昨年は一般戦で怒り目のVを決めた時には「今年は優勝回数を意識して走ります」と話していたが、以降は1か月に必ず一度は優勝のベースでキャリアハイの9Vを成し遂げた。今年はGI、SGで結果を出す。クラシックの出場権利は得た。四国No.1の座を勝ち取って、5月まるがめオパールスターにもつなげていきたい。

中国地区

24年12月の下関オールレディースで、デビューから4年で念願の初優勝を果たした清水愛海。127期の養成所リーグ戦勝率1位、そして史上6人目の養成所女王としてデビュー前か



清水愛海

ら注目を集めていたが、度重なるスタート事故で満足に走れない時期も多かった。その苦境を乗り越え、ついに結果を残した。「自信になりました。これからも優勝できるように頑張りたい」とこの優勝で確かな手応えをつかんだ。すでにレディースチャンピオンで女子限定GIの経験はあるが、男女混合GIはこの地区選が初出場となる。タインスピードが女子トップレベルなのは間違いないが、それが記念戦線でも通用するのか、自分の力を試す絶好の舞台となる。25年はクイーンズクライマックス出場の12人を争うであろう逸材が、地元水面で大暴れだ。

九州地区

福岡支部では竹井貴史。昨年は芦屋の地区選、9月に津と若松の周年、12月の福岡周年とGIを4節走っていても予選敗退。それでも5期連続A1級をキープするなど力は付いた。佐賀支部では常住蓮に期待。昨年は3月に地元唐津でデビュー初優勝を飾り、その後も8月に唐津、11月には宮島のルーキーでも優勝。6回目のGI出場で、まずは予選突破を。

常住蓮



長崎支部は村上遼だ。GI優出は3回あるが、近況はなかなか結果を出せていない。それでも地元で走り慣れているアドバンテージは大きいはずだ。